

### 今号の内容

- ◆ご存知ですか？ 民生委員児童委員 2～3
- ◆秋の叙勲、褒章 ほか 4
- ◆自動車の観光広告物製作助成 ほか 5
- ◆市民のひろば(6-7) ◆川柳(7) ◆図書館・水の郷ニュース、柳川百選まち歩き(8-9) ◆情報わいど(10-15) ◆がんばったね(16) ◆柳川にこの人あり 山下孝彦さん(16) ◆もちふみデビュー(17) ◆保健ガイド(18-19) ◆新市史抄片(20)



## 中学生 伝統文化を体感

三橋中学校で11月15日、一流の舞台芸術に触れる文化芸術体験がありました。これは、次代を担う子どもたちの発想力の育成や芸術鑑賞の向上を目的に、文化庁が行う巡回公演事業。同校1、2年生262人は、日本舞踊協会による長唄「連獅子」の舞台鑑賞の他、日本舞踊の美しいおじぎや立ち座り、扇子の使い方などを学びました。また、10月のワークショップで「さくらさくら」を練習した生徒は、浴衣を着て踊りを披露。日本の伝統文化に触れた1日となりました。



## 崩道の祇園祭り

問い合わせ 市生涯学習課市史編さん係 ☎72・1275

### 編集後記

柳川市南浜武字六郎兵衛開では、旧暦6月17日に風水害除けと疫病退散祈願の祇園祭りが行われている。祭り当日の早朝からダイジャヤマ(大蛇山)と呼ばれる雌雄一対の大蛇を作る。製作は、本来小学校4年から中学2年までの男子(中学校2年生全員をカシラ、同1年生全員をナカガシラという)が担当する。現在は子どもの数が減少したので大人が加勢するようにになった。



崩道の祇園祭りの大蛇を製作している様子。子どもや大人がウロコに見立てた貝殻を付けたり、泥を塗り付けたりしている

大蛇の胴回りは約1メートル、長さはオスが10メートル、メスは8メートル程である。胴体から尻尾にかけての部分は麦ワラ、口(上あごと下あご)は稲ワラで作る。頭部と胴体の部分のワラの上から濁泥を塗り、その上に、ウロコ、目玉、髯、歯、角を付ける。ウロコにはシジミガイ、ミゾガイ、カキ殻を、歯はオスはアゲマキ、メスはお菌黒を付けているように見せるためドリシャミセンガイを、眼は堀の中に生息しているミゾゲ(オスは銀色、メスは金色に彩色する)で、舌は厚紙、角はヤナギの枝を用いる。



夜に行われる祇園祭りの様子。大蛇の口に取り付けた花火から火が噴き、祭りも最高潮に

オスは広場の大きなエノキに胴体と尻尾を巻き付け、樹上から下りて来たように、メスは観音堂裏手の堀から上がってきたように配置する。大蛇の頭は、南の方角を向くようにそろえて固定する。頭部の先のくぼ地を池に見立て、血を吐いているようにする。夜になると、火花を仕掛けた大蛇の口から、災難除けの火を噴く。

翌朝6時ごろ、子どもたちは大蛇を解体してリヤカーで沖端川まで運び、引き潮時を見計らって川に流す。かつては、川中まで泳いでいって流していたが、今は川岸から流すようになった。なお、目玉、耳、舌は魔除けの縁起物としてカシラがそれぞれ持ち帰り、玄関先に飾る。

大蛇山のような造り物を伴う祭りとして、市内の中島の大蛇山がある。ただ、中島のそれは山車に載せて移動する。九州の「造り山」のほとんどは、中島と同様に動く形式であるが、崩道は固定した「山」である。これは「造り山」本来の姿をとどめており貴重である。

市史編集委員 安田宗生

平成25年10月末現在

### 人のうごき

- 人口 70,352人 (前月比 -45)
- 男 33,320人 (-6)
- 女 37,032人 (-39)
- 出生 46人、死亡 66人
- 転入 127人、転出 152人
- 世帯数 24,933世帯 (18)

●「ふるさと寄付」を知っていますか。寄付額に応じて税金の控除がある他、市では1万円以上の寄付者に記念品を送っている。今回、記念品の種類を大幅に増やした。親戚など市外在住者がいれば、ぜひ市への寄付のお願いを。柳川が詰まった記念品が送られてくること間違いなし。(英一)

●11月下旬から12月にかけてアイソン彗星が接近。この彗星は太陽を周回しないので、最初で最後の観察に。今年は天体ショーがいろいろあって、ある人から「天文部に入っていたの？」と聞かれたことも。広報でカメラを扱うようになってからだが、はまってきているのかなあ。(賢治)

●今年も残すところ1か月。私事だが来年は30歳の大台だ。先日小学校へ取材に行くと、児童が年齢を尋ねてきた。「18歳」と答えると、何の反応もなく児童は立ち去った。ふと、年齢を大幅にごまかす大人を冷たい目で見ていた自分の幼少期を思い出し、改めて自分の年齢を感じた。(和久)